

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	効率的な行政運営			
施策の体系	基本目標	ひとつをつなぐまち	施策の担当課名	総合政策課
	基本施策	行政経営プロジェクト	関係課名	総務課・財政課・総合窓口課・情報政策課
	施策コード	C-6-5		

① 施策の現状と課題	<p>地域経済の低迷や税収が落ち込む状況が続く一方で、市民ニーズはますます多様化・高度化しています。また、地域主権改革に伴う権限移譲により地方自治体の事務は増大・複雑化しています。このような状況に対応するため、地方自治体は限られたヒト・モノ・カネを有効活用し、自己決定・自己責任による効率的な行政運営を行っていかねばなりません。</p> <p>本市は、これまで4次にわたり行政改革を行い、自主財源の確保、事務事業の見直し、定員管理の適正化等に取り組んできました。</p> <p>第4次行政改革の取組みでは、平成17年度から平成22年度までの6年間で約41億3千万円の経費節減等財政効果を挙げ、また、職員を削減し定員の適正化にも努めてきました。</p> <p>一方で、職員削減を補完し、さらに行政サービスの向上を図るため、人材育成基本方針に基づき政策能力向上研修をはじめとした各種研修を実施し、職員の能力向上に努めています。</p> <p>今後も、行政改革や職員の能力向上を推進するとともに、計画・実行・評価・改善のサイクルに基づき施策や事務事業を見直す仕組みを確立し、効率的で効果的な行政運営を行うことが重要です。</p> <p>また、情報化の技術を積極的に活用し、事務の効率化や高度化を進めることも重要です。</p>
② 施策の基本方針	<p>多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、引き続き行政改革を推進していくとともに、職員の能力向上、組織機構の見直しを図り、効率的な行政運営に努めます。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 行政改革の推進</p> <p>第4次行政改革大綱の推進期間終了に伴い、第5次行政改革大綱を策定し、引き続き行政改革を推進します。</p>
	<p>主要施策名(2) 計画的・効果的な行政の推進</p> <p>総合計画に基づく施策を計画的かつ効果的に実施するため、行政評価の手法を取り入れ施策の進行管理を図る仕組みを構築します。また、事務事業評価の外部評価として「事業仕分け」を導入し、さらなる事務事業の改善を図ります。</p>
	<p>主要施策名(3) 組織機構の見直し</p> <p>限られた人材で効率的な行政運営を行うとともに的確に行政ニーズに対応できる組織機構の整備に努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 定員適正化の推進</p> <p>事務事業の見直しや民間活力導入の推進を図り、職員定数の適正化を図るとともに、職員の資質に応じた適材適所の人事管理に努めます。</p>
	<p>主要施策名(5) 職員の能力向上</p> <p>引き続き、人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上に努めるとともに、職員の能力や業績等を適切に評価する仕組みの構築に努め、職員の士気の高揚と組織の活性化を図ります。</p>
	<p>主要施策名(6) 高度な行政サービスの提供</p> <p>情報技術を活用した事務の効率化・迅速化及び市民の利便性の向上に努めるとともに、一つの窓口で手続きが行えるワンストップサービスの検討を行います。</p>
	<p>主要施策名(7)</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値		達成度の説明 (H26年度)
	行政改革による経費節減額 (H23年度比で) (億円)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	26年度分の節減額はまだ算出していない。
	職員数 (4月1日現在) (人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	防災教育センターの単独運営による派遣職員の復帰により、平成26年度は前年度と比較して8名の増員となった。権限委譲及び消防部門の人員拡充により、職員数は増加傾向となるが、引き続き定員適正化計画に基づいた定員管理に努める。
	マネジメントシートを活用した外部評価件数(施策)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	総合計画に明記されている37施策を4カ年で外部評価(審議会によるヒアリング)実施する予定としており、評価2年目の平成26年度は8施策のヒアリングを実施した。
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費 (人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額		
	1	九州労働金庫貸付事業	九州労働金庫からの要請に基づき、預託を行う。	40,000	40,000	40,000	11
	2	市庁舎補修事業	市庁舎の維持補修事業を行い、庁舎の長寿命化を図る。	2,308	3,566	31,920	6
	3	市庁舎管理事業	市庁舎の管理業務により、効率的な管理を行う。	38,842	40,044	38,221	5
	4	電算基幹システム保守委託事業	基幹システムが安全に、不具合無く動作するために保守を行う。	3,014	5,314	5,314	7
	5	電算基幹システム機器賃借事業	基幹システムを利用するために機器のリースを行う。	13,540	13,540	13,540	8
	6	総合計画事業	第5次総合計画の策定、進捗管理	3,681	2,915	3,227	1
	7	行政改革事業	事務事業の見直しにより、効率的な行政運営、経費の節減を図る	4,419	3,225	1,481	2
	8	市民会館管理事業	市民会館の管理業務により、効率的な管理を行う。	14,945	15,581	15,581	12
	9	市民会館補修事業	市民会館の維持補修事業を行い、庁舎の長寿命化を図る。	7,014	1,488	1,700	13
	10	職員研修事業	職員の能力開発、資質の向上及び意識改革を図る研修の実施	9,030	8,700	7,893	4
	11	戸籍・住民票等窓口業務	戸籍・住民票等窓口に関する業務	32,831	27,001	39,018	10
	12	戸籍・住民票等異動・記載業務	戸籍・住民票等異動・記載に関する業務	59,533	65,837	80,502	9
	13	社会保障・税番号制度に伴う事業	社会保障・税番号制度に伴う業務	-	-	33,260	3
14	住居表示事業	住居表示維持管理業務	7,032	7,197	7,530	14	
15							

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>平成26年度当初から検討を重ね、効率的で分かりやすい組織機構の実現と事務事業の見直しを行ったところである。その中で、総合窓口(ワンストップサービス)について、庁舎1階の窓口改修と併せて実施し、住民サービスの向上を図った。今後は、総合窓口を含め、組織や事務事業の検証を継続的にを行い、計画的に改善していきたい。</p> <p>また、税収の大幅な増加が見込めない財政状況の中で、いかに自主財源を確保するかが重要となるため、職員による調査・検討組織を編成し、積極的に取組内容を検討していく。</p> <p>各部署に配置されている職員数についても、平準化、適正化に努めるとともに、職員の研修内容の充実を図り、職員のスキルアップやモチベーションの向上に繋げる。</p>
---------------------------------	--

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>総合窓口について庁舎1階の窓口改修と併せて実施し、住民サービスの向上が図られたが、これをゴールとせず、今後も住民の利便性が向上するように関係各課と連携を密にし、更なる総合窓口の充実について継続的に取り組んでいてもらいたい。</p> <p>現在実施している施策評価シートを活用し、PDCAサイクルを確立することで、業務効率化のために役立ててもらいたい。</p> <p>限られた人材で的確に行政ニーズに対応できるように、職員のスキルアップやモチベーションの向上については特に重点的に取り組んでもらいたい。</p> <p>組織や事務事業については、継続的、計画的に検証を実施し、市民に分かりやすくする方法で公表してほしい。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>総合窓口の更なるワンストップサービス実現に向けた充実を含め、住民サービスの向上のために、関係各課と連携を密にし、組織や事務事業の検証を継続的にを行い、計画的に改善していきたい。そして、機構改革等を行った際は、今まで以上に市民に分かりやすいよう周知を行う。また、業務効率化のために本施策評価シートを活用したPDCAサイクルを今後とも継続的に実施していきたい。</p> <p>自主財源確保のために、本年度より職員有志による自主財源確保調査委員会において検討を重ねているが、今後も職員のスキルアップやモチベーションの向上のために様々な取組を行っていききたい。</p>
-------------------	---